

建設中止しかない!

放射能を含む指定廃棄物 最終処分場を考える シンポジウム

2015

1月25日(日) 13時~17時

仙台弁護士会館 大ホール

ご 案 内

環境省が福島第一原発事故により発生した放射能を含む指定廃棄物の最終処分場を宮城県につくろうとしています。

加美町・田代岳、栗原市・深山嶽、大和町・下原地区の3候補地は、地滑りをかかえる水源地で、いずれも適地ではありません。建設を強行すれば甚大な被害と悪影響が予想されます。そこで、問題点を検証し、政府と東電による「発生者責任」の解決の道を探ります。

各界のみなさまにご参加をご案内申し上げます。また協賛・後援をお願いいたします。

第1部 3候補地はいずれも適地ではない

- 3候補地の地質、地滑りの問題点
大槻憲四郎 (東北大学、地質学)
- なぜ最終処分場建設を急ぐのか
井原 聰 (日本科学者会議常任幹事、技術論)
- 生存権、幸福追求権を侵害する建設計画
青木 正芳 (弁護士、仙台中央法律事務所)

第2部 処分場の被害と影響を考える

- ビデオ発言
除本 理史 (大阪市立大学、経済学)
- 聞き取り調査レポートの発表と発言
商工会、JA、内水面漁協、観光組合、他から
- 参加者からの発言
- 主催者から県民のみなさまへのアピール

〈主 催〉1・25シンポジウム実行委員会

- 呼びかけ団体
加美町・放射性廃棄物最終処分場建設に断固反対する会
(連絡先=加美よつば農協 ☎0229-63-3761)
- 協賛団体
 - ・ 栗原市・放射性指定廃棄物最終処分場候補地撤回を求める域住民の会
 - ・ 大和町・旧丹沢下原住民の会
 - ・ 船形山のブナを守る会
 - ・ 協同組合あいコープみやぎ
 - ・ 東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター
 - ・ 子どもたちを放射能汚染から守り、原発から自然エネルギーへの転換をめざす女性ネットワークみやぎ
 - ・ 女川原発の再稼働を許さない!2014みやぎアクション
 - ・ 日本科学者会議宮城県支部

ほか後援・協力団体多数